



Xavier Bertrand グザビエ・ベルトラン
オー＝ド＝フランス地域圏議会議員

1965 年シャロン＝シュル＝マルヌ（現在の シャロン＝アン＝シャンパーニュ）生まれ。ランス大学法学政治学部において公法学修士号と地方自治行政学修士号を取得。1992 年から 2004 年までエーヌ県フラヴィー＝ル＝マルテルで保険業に従事。

1995 年、サン＝カンタン副市長に就任し、市の活性化と発展を担当。1998 年にエーヌ県の県会議員に選出、2002 年にエーヌ県第 2 選挙区の国民議会議員に当選。

2004 年に健康保険担当副大臣に任命された後、2005 年から 2007 年まで保健大臣、2007 年 5 月から 2009 年 1 月まで労働大臣、2010 年から 2012 年 5 月まで労働・雇用・保健大臣を務める。責任の一環として、公共交通機関における最低限のサービスの導入や公共の場での禁煙を含む一連の大規模な社会改革を推進。

2010 年にサン＝カンタン市長に選出、2012 年にエーヌ県第 2 選挙区の国民議会議員に再選。

2015 年 12 月、オー＝ド＝フランス地域圏（人口 600 万人）の初代議長に就任。国民議会議員と市長の職を辞し、地域住民のためのプロジェクト « Notre Région au travail »（「働く私たちの地域」）実現のための活動に専念：

- 地域が求職者を支援：「Proch'Emploi（プロッシュ・アンプロワ：求職相談窓口）」を創設、求職者と採用する企業を結びつけ、何千もの人々が就労に至る
- 地域が購買力を回復させ、就労への障壁を取り除くことにより 働く人々を支援：交通費と保育費の補助、復職者に対し 1 日 1 ユーロで車を提供、高校生・職業見習い・学生のための制度など
- 地域が雇用創出者や起業家をオーダーメイドのツールで支援：職業訓練、プロジェクトのための資金調達、オー＝ド＝フランス地域圏における第三次産業革命である「Rev3*」による経済とエコロジーの調和のためのソリューションなど

地域は、日常生活のために行動する一方で、その役割は未来を準備し、築くことにありとし、オー＝ド＝フランス地域圏の選出議員らと共に、地域の経済と環境にとって世紀のプロジェクトであるセヌ・北ヨーロッパ運河建設計画始動の成功に至る。この運河はコンピエーニュとダンケルク-エスコ運河を 107km の経路で結び、数千人の雇用創出が見込まれる。

2021 年 6 月 27 日、オー＝ド＝フランス地域圏議会議長二期目に再選。

*Rev3：オー＝ド＝フランス地域圏とオー＝ド＝フランス商工会議所による、より持続可能で包括的な地域づくりを推進するための取り組み